

2015 年度

東邦大学看護学部・河南科技大学

国際学術交流プログラム

来日研修報告書

東邦大学看護学部

目次

1. 研修参加者
2. 研修プログラム日程
3. 研修を受け入れて

1. 研修参加者

NO	氏名	英語	性別	役職	職位
1	田晓予	tian xiaoyu	女	第一附属医院副院长	主任醫師
2	黄丽娜	huang lina	女	第一附属医院神经内科医局長	主任醫師
3	侯旭荣	hou xurong	女	第一附属医院腫瘍内科師長	主管看護師
4	邢桃红	xing taohong	女	第一附属医院血管外科師長	主管看護師
5	赵杰刚	zhao jiegang	女	河南科技大学大学院研究科長	副教授

2. プログラム日程

月日		時間	内容	担当者
10月3日	土	13:20	成田空港着 南方航空 8383 便	山本
10月4日	日	10:00	五島瑳智子名誉学長合同葬 参列	近藤
10月5日	月	10:00	オリエンテーション 自己紹介、相互の大学紹介 いえラボ紹介、質疑応答	出野学部長 国際交流委員
		14:30	いえラボでの研修	横井・近藤
10月6日	火		都内観光	松永
10月7日	水	10:00	看護学部 施設見学 大学本部棟 額田記念館 見学	国際交流委員
		13:30	東邦大学医療センター大森病院 視察	田村副看護部長・近藤
10月8日	木	10:00	大学運営会議 出席	
		13:30	修了式	
10月9日	金	10:00	佐倉病院 見学	東・山本
10月10日	土	14:30	成田空港発 南方航空 8384 便	出野学部長・近藤

3. 研修を受け入れて

2015年10月3日から10月10日までの8日間、河南科技大学から研修生を迎えた。継続した交流は年を追うごとに成熟したものとなっている。

特に本年度は東邦大学看護教育の発展や中国との看護交流の礎を築かれた五島瑛智子名誉学長(医療短期大学)が逝去され、深い悲しみに包まれた年であった。研修生4名、通訳1名は10月4日に行われた大学合同葬に参列され、私達とともに五島先生のご冥福をお祈りするとともに河南科技大学と本学の交流のさらなる発展を誓い合った。

また、文部科学省による課題解決型高度医療人材養成プログラム事業に選定された「TOHO いえラボプロジェクト(都市部の超高齢者社会に挑む看護師養成プログラム)」が2年目を迎え、研修生たちは「いえラボ」の見学や軌道に乗ったプログラム運営について学ぶ機会を得た。日本と同様、急速に高齢化が進む中国国内の背景もあり、熱心に説明を聞き、見学や質問をする研修生たちの姿がみられた。

そして、例年行われる大森病院の見学に加え、今年度は佐倉病院看護部の協力のもと、佐倉病院の見学も研修プログラムに加えることができ、研修生たちはそれぞれの病院の特色を知る時間をもつことができた。

さらに本年は、日中医学協会の中国人医療関係者研修事業で本学部が受け入れている研修生1名を交えての研修が行われるなど、これまでの研修とは違う新たな内容が多く盛り込まれ、研修生にとっても私達にとっても発展の可能性を再認識できるものとなった。

これも看護学部の教職員、大森病院看護部、佐倉病院看護部の国際交流に対する理解と寛容な受け入れ体制の整備・連携によるものと強く感謝している。そして、この交流の一步を歩いてくださった五島先生に改めて敬意を表し、さらに両大学間の結びつきを強固にしていくことを約束したい。

